

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1白石市総務課へ。**はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。**
毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☒koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

俳壇 山家弘子選

立春や胸踊らせて鎌を研ぐ
臘梅の咲くや薬師寺暮の鐘
病室の窓に舞いをり春の雪
せせらぎの高まる響き雪解水
山あいの湯煙なびく雪の宿

菊地せつ子
星 明
高橋由美子
末吉アツ子
木村 芳香

市民文芸

歌壇 岩崎聰之介選

卒寿われ寒と耐えきて春ちかし朝飯うまし今日も元氣ぞ
連れ添うて降れる雪片掌にし受けそつと咲かさむ天からの華
「雪道の俺すべり止め」手をつなぎ老いを労わる俤か やさし
止みたるか宵を出づれば深閑と藪も林も雪明かりせり
予約したる診療の朝ゆきとなり家を出て得ず寒き日となる
土手長き白石川の河川敷日向日向の蓬摘みゆく
米十キロ 友よ土産をありがとう三合炊いて朝餉豊かなり
春雪から護りやらんと囲いしてクリスマスローズの花芽いつくしむ
今朝の蔵王雪の稜線際立ちて神々しきぞ 雨の handshake
観葉樹空気がきれいにするとて頂けばうれし気管弱さわれ
米十キロ 友よ土産をありがとう三合炊いて朝餉豊かなり
春雪から護りやらんと囲いしてクリスマスローズの花芽いつくしむ
今朝の蔵王雪の稜線際立ちて神々しきぞ 雨の handshake
観葉樹空気がきれいにするとて頂けばうれし気管弱さわれ

阿部かつみ
村上八重子
大庭美智子
佐藤 啓子
星 明
高橋由美子
末吉アツ子
木村 芳香

評一首目、三句四句の形容詞終止形のリフレインが調子を整えている。何とも感慨溢れるうただ。
二首目、「連れ添うて」は発見。いつしか華となるメルヘンの世界に誘われる。
三首目、息子さんの言葉が生きていよう。うた全体に力がある。

柳壇 四竈英夫選

城の坂足止めさせる蕨かな
春風や公園の声甲高し
雛飾る幼き子等の笑顔かな
夫呼べば猫が応へて春の朝
藪の中ホーホケキョの第一声
評一句目、寒さはまだまだ厳しいが、日脚のび木々の芽が吹いてきてやつと春になった。大好きな畑仕事が出来る喜び。
二句目、臘梅が丁度見頃で貴品あふれる香りに酔いしれていると、夕べを告げる寺の鐘が鳴り響いた。感動が伝ってくる。
三句目、退院はいつになるのかと気が滅入ってしまふ。ふと窓に目をやると楽しそうに舞う春の雪に心が慰められたのである。

配給が復活しそう米不足
忘れ物見つけて今日もスタートだ
加速する少子高齢国憂う
加速する人手不足で店仕舞い
長寿です我ら団塊花盛り
歳も増えシワの数でも涙き笑み
転がるよ風の子二歳児散歩中
誕生日たどたどメールで娘を祝い
ありがたや日に一錠で寿命伸び
子どもたち贈る言葉はありがとう
佐藤 啓子
木村 芳香
末吉アツ子
菊川いつ子
星 明
遠藤 松雄
小室アイ子
菊地せつ子
我妻 孝則
大槻あさ子

評一句目、どこまで続く米不足。備蓄米が放出されても米の値段はあまり変わらない。減反政策は何だったのか。農政の七不思議。
二句目、探していた忘れ物を見つけた時の安堵感、爽快感。今日一日の良いスタートが切れる。
三句目、日本は世界有数の長寿国。加えて出生率の低下が続く。「少子高齢」四字熟語「産めよ増やせよ」懐かしい。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物
直売所情報▶



伝統の保存食「笹巻き」

宮城県南では、端午の節句の時期に、子どもの健やかな成長を願って笹巻きが作られてきました。笹の葉には防腐作用があり、昔から食品の保存に重宝され、田植え時のおやつとしても活躍したと言われています。

市内では、おもしろい市場やバーバ工愛市で販売しています。ほのかな笹の葉の香りとやさしい風味をぜひお楽しみください。

☎農林課 ☎22-1253



▲食べる際は葉を外し、きな粉をつけてお召し上がりください

皆さんからのすてきな情報を待っています！／

まちかどズームイン



▲真剣にこけしの絵付けに取り組む児童

小さな絵師たち

市内小学生による「こけしの絵付け」体験

4月11日、福岡小学校でこけしの絵付け体験が行われました。この絵付け体験は、こけし工人を講師に迎え、市内の小学校6年生を対象に実施。児童の作品は「第67回全日本こけしコンクール」会場に展示されます。体験した児童は「色をつけるのが大変だった」と話してくれました。



▲入学した生徒を歓迎する我妻聡美校長

個性を伸ばす教育を

白石きぼう学園「令和7年度新たな門出を祝う会」

4月15日、白石きぼう学園で「新たな門出を祝う会」と題した入学式が行われました。今年度は昨年より7人多い11人の中学1年生が入学。我妻校長は「皆さんの入学を歓迎します。自分の良いところに気づき、個性を伸ばしましょう。」などとあいさつ。同校には今年度、小中学生合わせて35人の児童生徒が在籍します。



▲放水ホース数が昨年の2倍となった圧巻の一斉放水！

防災力向上に向けて

令和7年度白石市消防団春季消防演習

4月6日、白石川緑地公園で「令和7年度白石市消防団春季消防演習」が行われました。演習には消防団員約500人が参加し、部隊訓練や実地放水を行い、日頃の訓練成果を披露しました。我妻一雄消防団長は「今年もすでに火事が5件発生しており、皆さんの協力をもって火事をいくらでも少なくしたい」と話してくれました。



▲水芭蕉の森開園式でテープカットをする関係者

春を告げるミズバショウ

水芭蕉の森開園式

4月10日、福岡深谷地内にある「水芭蕉の森」の開園式を行いました。同園は約5万本のミズバショウが群生しており、毎年春の訪れを告げるかわいらしい花を目当てに多くの方が訪れ、憩いの場として親しまれています。訪れた参加者は、園内の遊歩道を散策し芽吹き始めたミズバショウを楽しんでいました。